

資料説明

今回の児童館運営委員会については、書面会議での開催となりますので、会議資料の内容説明として本紙を添付しております。概要は、以下のとおりですが、ご不明な点等がございましたら、事務局（甚目寺南児童館 052-443-1753）までご連絡ください。

◆協議事項（１）令和２年度事業報告について

○各児童館の年間目標等【1～6 ページ】

年間目標については、全館共通事項として「親子の関わりが豊かになるような遊びや活動の提案」を始め３つの目標を掲げております。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館措置が解除されてからも行事を自粛していたこと、また再開後も密にならないように人数や時間の制限を設けるなど、当初の計画から内容を修正せざるを得ませんでした。各児童館における乳幼児及び小学生事業の活動内容と、その活動の中で得られた課題や反省をもとに、次年度へ向けての方針を検討していくという流れでそれぞれ記載をしております。

○令和２年度年間行事一覧表等【7～36 ページ】

7～24 ページでは、児童館ごとに幼児と小学生の行事を一覧表としてまとめ、それぞれ事業のねらい及び事業内容を記載、また重点をおく項目の欄に○印を付しております。右端には、参加人数を記載しておりますが、コロナ禍で中止とした行事には「－」を記載しています。

25～36 ページでは、各児童館の行事の中から、幼児と小学生の行事について具体的な活動内容等をシートにまとめたものを１つずつ例示しております。

◆協議事項（２）令和３年度事業計画（案）について

○令和３年度児童館事業計画（案）【37 ページ】

全児童館での幼児と小学生の年間行事予定を一覧にしてあります。なお、行事の回数欄を網掛けとしているところは、１日に複数回実施をしているため、延べ回数を記載しております。

近年は、携帯電話（スマートフォン）の利用者の低年齢化が進んでおり、小学生等が来館した際に、携帯電話の使用をめぐるトラブルとなることもありました。そのため、携帯電話の使用範囲や使い方などのルール、マナーを学ぶ機会を設けて、安全に利用できるような教室も計画しております。

○令和３年度年間行事一覧表【38～55 ページ】

児童館ごとに幼児と小学生の行事を一覧表としてまとめ、それぞれ事業のねらい及び事業内容を記載、また重点をおく項目の欄に○印を付しております。

以下、各児童館の事業方針となります。

〈七宝児童館〉

乳幼児事業では、コロナ禍でどのように過ごしていくかを他の児童館職員にも情報を聞きながら検討していきます。小学生事業では内容を少し変えて、館内に隠された問題を解きながらゴールを目指すクイズラリーを予定しています。

引き続き、大人も子どもも安心して過ごせる場所になるよう遊びの工夫や、身近な相談相手となり保護者支援にも力を入れていきたいと考えております。

〈美和児童館〉

幼児の事業として、コアラ教室・ちびっこあつまれを開催していますが、行事の中で子育てをしている保護者が役に立つようなコーナーや話を提供する時間が作れたらよいと考えております。また、保護者同士の距離が近くなれるような環境・場所作りにも努めます。

小学生行事については、コロナ禍であるため、他者との密な接触をしながら遊ぶことが困難なことから、大人数を集めて行事をやるということは難しいと感じています。また、子どもたちの様子を見ていて、コロナ禍の影響だけではなく、人との関わりが希薄化しているように感じるので、少しでも人とのつながりが感じられるような行事をしていきたいと考えています。

本館は中学生の利用割合も大きいので、乳幼児・小学生ベースで行事企画や児童館の運営方針を考えるのではなく、中学生も含めた運営の提示をしていきたいと思っております。携帯電話は盗撮やいじめの原因になりうることから、基本的に館内での使用を禁止としていますが、時代の変化にあわせて、使用の範囲も考えていくことが必要であるため、検討課題としていきたいと考えております。

〈甚目寺中央児童館〉

乳幼児事業では、今年度と同様に進めていきます。

小学生行事では、子どもたちの様子を見て事業に共通のテーマを決めて計画するのはどうかと厚生員同士で話し合い、『協力』をテーマに掲げて計画的に進めていきます。

また、多くの市民に児童館を知ってもらえるよう、まずは小中学生を対象に、児童館だよりを地区内の学校に掲示依頼し、児童館がどんなところかを知らせ、「行ってみたいな」という気持ちを持たせたいと考えています。

〈甚目寺南児童館〉

乳幼児の行事は、密を避け、なおかつ、子どもたちがどのような形で触れ合えるか試行錯誤しながら、行事などに取り組んでいきます。

また、子育て世代にたくさん利用していただくため、保護者がいかに気軽に利用できるかを考え、育児相談や心配ごと相談も気軽にできるように努めます。(今年度は、かなりの方がいろいろ相談してくれた。)そして、ママ友をつくり、親同士、子ども同士が、共に語り合い、遊びあい、高めあえるような環境にし、居やすい場所にできるように努めていきます。

小学生事業においては、製作のみではなく楽しめるゲームなどを取り入れていきたいと思っております。

さらに小中学生の心の拠り所、ほっとする居場所にできるような児童館でありたいので、子どもの気持ちを受け止め自由な遊びを見守っていきたくと思っています。

〈甚目寺北児童館〉

乳幼児・親子に対しては自由来館時・行事時ともに、集団遊びや複数の子と遊ぶ、という経験も増やしていきます。

小学生事業では、併設憩の家来館者と自由来館の中で声をかけあい、顔見知りが多くなることからはじめ、将来的には地域の人とお互い見守りあう体制につなげていきたいと考えております。

環境作りや製作の手伝いをしてくれる中高生もいるので、ボランティアの育成という面で広げていきたいと思えます。他方では、小学生とのトラブルもあったので、中高生にも楽しい場でありながら、あこがれの先輩となってもらえるよう、今後も十分気を配り、声を聴いたり見守っていかねばいけないと思えます。トラブルの原因として携帯の使用があったので、令和3年度は、児童館での携帯電話の使用（マナー・撮影・ゲーム等々）を禁止するだけでなく、使い方や児童館でのルール等を考えたりできるよう、子どもや保護者を巻き込んで行事（ネット安全教室・仮称）を行う予定です。

〈甚目寺西児童館〉

乳幼児事業の「ちびっこあつまれ 音楽あそび」では、リトミック的な内容を多く取り入れ、身体全身で音楽を楽しめるように努めます。また、保護者と良好な関係を築き、ひとりひとりに寄り添った子育て支援に努めます。

小学生行事では、子どもたちの興味のある遊びや製作を取り入れ、喜んで参加できるように努めます。

◆協議事項（3）その他

○令和2年度あま市児童館利用状況【56ページ】

各児童館の利用人数を記載しております。行事参加者数は内訳で記載してございます。これは、児童館利用者のみ的人数を明確にするためです。各児童館の総人数からクラブ利用者と行事参加者（内児童館利用者）を引いた数字です。（内クラブ利用者）を同時に引くと表中の「クラブ利用者」とダブルカウントになり、人数に誤差が出るからです。

○児童館だより

参考として、各児童館における次月の児童館だよりを同封しております。